八幡東区 YAHATA HIGASHIKU

近代化産業遺産 with 文学碑 ウォーキング MAP 世界遺産 ver.

日本の産業革命を支えた“世界遺産のある街”。
緑豊かな自然や文学&歴史の薫る街並みを
歩いてみれば、きっとこの街が好きになる！

世界遺産 The World Heritage 官営八幡製鐵所

Aコース Bコース Cコース　経産省認定　非公開施設

「明治日本の産業革命遺産」－製鉄・製鋼、造船、石炭産業－

1 旧本事務所

製鐵所操業2年前に建設された建物です（設計建設は製鐵所。延床面積1,023㎡）。中央ドームを持つ左右対称形の建物で、当時は長官室、顧問技師室、技監室など製鐵所の中核施設として使用されていました。大正11(1922)年まで本事務所として使用され、以後検査部門などが使用していました。眺望スペースから外観をご覧いただけます。

2 修繕工場

創業時に建設された工事建屋で、現存する日本最古級の鉄骨建造物です。鋼材生産量の増大に伴って3回増築されました。今もなお整備場として使用されています。製鐵所は、ドイツGHH.（グーテホフヌンクスヒュッテ）社の技術を基本に計画・建設され、この工場も同社の設計と同社製建築用鋼材で建設されています。

3 旧鍛冶工場

修繕工場と同じく、創業時にドイツGHH.（グーテホフヌンクスヒュッテ）社の設計・鋼材で建設されています。修繕工場の北側に建設されましたが、大正時代に現在地に移設され製品試験所として使用されました。現在は製鐵所創業時の貴重な資料などが保管されています。所蔵資料には各種文書、書籍、写真（ガラス原版・フィルム等）、パネル、映画フィルム、賞状・辞令、門標、機械・構造物、模型など約4万点があります。

官営八幡製鐵所関連施設は紀元前及び中世での遺跡（秋吉遺跡）、炭田遺跡（筑豊炭田）、ジンバ遺跡は「明治日本の産業革命遺産」のひとつとして平成27(2015)年「世界文化遺産」に登録されました。

4 東田第一高炉跡

経産省認定　市文化財　Aコース Bコース Cコース

明治30(1897)年、八幡に官営製鐵所が開庁し、明治34(1901)年には、東田第一高炉に火が入れられ操業を開始しました。現施設は、昭和47(1972)年に役割を終えた第10次改修高炉を保存整備したものです。平成8(1996)年3月27日、市文化財に指定されました。

5 長崎街道（東田）

Aコース Bコース Cコース

長崎街道は、江戸幕府唯一の開港場長崎と小倉・大里を結ぶ脇街道として世界の物産や情報等を全国に伝える道であり、参勤交代などでも利用された重要な役割を持っていました。東田地区では平成23(2011)年度に約300mの区間、長崎街道をイメージした遊歩道として整備しました。

6 みずかみかずよ「ふきのとう」

文学碑　Bコース

八幡東区尾倉生まれ。地元の幼稚園で働きながら、児童文学誌「小さい旗」に参加しました。創作した詩や童話の数々は、教科書にも採用されています。昭和56(1981)年市民文化賞を受賞しました。

7 大谷会館

経産省認定　Aコース Bコース Cコース

昭和2(1927)年製鐵所の職工倶楽部として鉱滓煉瓦を使った組積造として建設されました。ドイツ表現主義の影響を受けたデザインで昭和初期の建築物の雰囲気を今に伝えています。平成元(1989)年、市建築文化賞を受賞しました。

8 旧百三十銀行八幡支店

市文化財　Bコース

明治時代、百三十銀行は大阪に本店を持つ大銀行で、八幡支店は大正4(1915)年に建てられました。一見すると赤煉瓦に見えますが、鉄筋コンクリート造です。昭和61(1986)年2月1日、市文化財に指定されました。

9 九州鉄道橋梁跡（尾倉）

Bコース

明治24(1891)年に開通した九州鉄道大蔵線の橋梁で、イギリス積の煉瓦で造られたアーチ橋です。大蔵線は、明治35(1902)年の戸畑線(現・鹿児島本線)の開通により明治44(1911)年9月に廃線となりました。

10 九州鉄道大蔵駅跡

Aコース Cコース

明治24(1891)年に開通した九州鉄道大蔵線は、当初小倉～黒崎間に駅がありませんでした。明治31(1898)年に、現在の大蔵公園の地に大蔵駅が設置され、八幡の表玄関として賑わいましたが、明治44(1911)年に大蔵線は廃止されました。

八幡東区へのアクセス

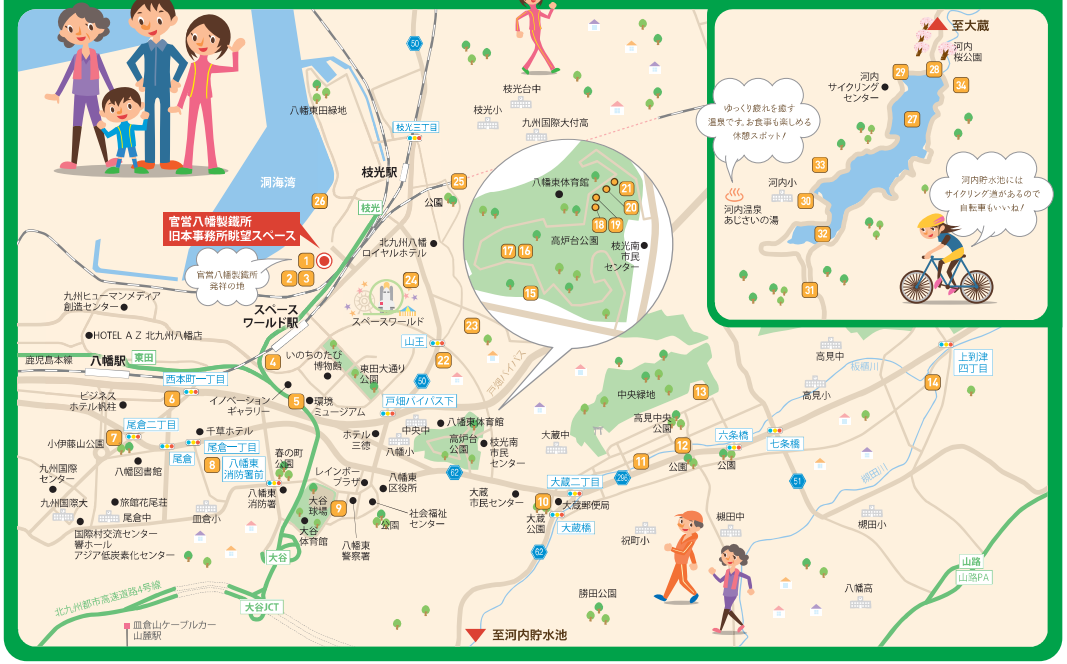
■ JRをご利用の方　※時間は目安です。

博多 —快速53分→ 八幡　普通25分　スペースワールド　普通1分　枝光　普通10分→ 小倉
博多 —普通13分→ 下関
小倉 —普通29分→ 行橋
博多 —新幹線17分→ 小倉

■ 自動車をご利用の方

北九州都市高速道路ご利用の方は、大谷ランプ、山路ランプ、枝光ランプ、東田ランプなどで下りると便利です。

経産省認定 …平成19年に、経済産業省が認定した「近代化産業遺産」　★…写真提供／新日鐵住金㈱八幡製鐵所



11 国境石（三条）

Aコース 市文化財

福岡藩が建てたもので、天保5(1834)年に建替えられた際に、二川桓近(ふたかわ　すけちか)によって「従是西筑前国」と彫られています。高さは3mを越え、県下最大です。昭和50(1975)年3月22日、市文化財に指定されました。

12 一里塚跡（荒生田）

Aコース

一里塚は、街道に一里（約4km）の目印として土を盛ったものです。樫や松などが植えられ、距離を知らせる目印や、馬やかごの料金の目安になりました。慶長9(1604)年に江戸幕府将軍・徳川家康が命じてから、本格的に整備されました。

13 高見倶楽部

経産省認定　非公開施設　Aコース

製鐵所開設時、構内にあった外国人顧問技師用官舎であったものが「社交・迎賓施設「公餘倶楽部」の二代目としてこのあたりに移設されました。昭和3年、老朽化のため奈良ホテルをモデルに皇族・政府高官も利用できる施設として全面的に改築されました。昭和24(1949)年/昭和天皇がご宿泊。

14 九州鉄道橋梁跡（茶屋町）

経産省認定　市文化財　Aコース

明治24(1891)年に開通した九州鉄道大蔵線橋梁の跡です。煉瓦の小口と長手を交互に積むイギリス積みや小口を五段積みした特徴的なアーチ橋で、煉瓦には「イー」などカナと漢数字が刻印されているものもあり、日本製品であることがわかります。

15 芳賀種義翁の碑

Aコース Bコース

芳賀種義（はが　たねよし）は官営八幡製鐵所設立当時の八幡村村長で、製鐵所誘致に尽力しました。大隈重信農商務大臣からの感謝状が石碑に刻まれています。

16 北原白秋「八幡小唄」

文学碑　Bコース

八幡製鐵所の所歌や応援歌を作詞した北原白秋。その際に八幡を訪れ、多くの歌を残しました。「山へ山へと　八幡はのぼる　はがねつむように　家がたつ」。当時の隆盛ぶりがうかがえます。

17 横山白虹「雪霰々と　敢闘のぼる　弾ぬけたり」 山口誓子「七月の　青嶺まちかく　熔鑛炉」

文学碑　Bコース

「九大俳句会」を設立し、小倉で俳誌「自鳴鐘（とけい）」を主宰した横山白虹。北九州文化連盟初代会長を務め北九州文化界のリーダー的存在でした。「ホトトギス」で名を馳せた山口誓子は「天狼」を創刊し、その同人に白虹も名を連ねていました。

18 佐木隆三「復讐するは我にあり」

文学碑　Bコース

同人誌「日曜作家」に小説を書き始め、労働者作家として活躍し、退職後には「復讐するは我にあり」で直木賞を受賞しました。法廷取材のノンフィクション作家として広く知られ、後に北九州市立文学館館長を務めました。

19 岩下俊作「無法松の一生」

文学碑　Bコース

「第二期九州文学」の結成に参加、小説「富島松五郎伝」が「無法松の一生」として映画化されました。推理小説、歴史小説など執筆のジャンルは多岐にわたります。

20 上野十七八（さかり）「夜の眺め　昼のなかめも　大八幡」

文学碑　Bコース

生まれも育ちも八幡。製鐵所に勤めながら川柳を作り続け、退職後は北九州川柳会の大御所として幾多の名句を残しました。句は昼夜を問わず操業している製鐵所の壮大さを詠んだものです。

21 石橋陸朗「巣立つ子の　夢へ八幡の　空は炎え」

文学碑　Bコース

八幡製鐵所時報の「くろがね」などの川柳選者を務め、後に「川柳くろがね吟社」の同人となり、北九州川柳界の指導者として活躍しました。八幡は九州川柳発祥の地とも言われます。

22 竹久夢二旧居跡

Aコース Bコース Cコース　文学碑

23 竹久夢二「宵待草のやるせなさ」

文学碑　Aコース Bコース

24 夢二通り記念碑

文学碑　Bコース

独特な美人画や詩人として有名な竹久夢二。一時、住んでいた枝光の住居跡には碑が建っており、周辺に整備された道路は夢二通りと命名され記念碑が設置されています。また文学碑のある諏訪一丁目公園では、毎年9月「夢二まつり」が開催されています。

25 くろがね線 宮田山トンネル

経産省認定　Aコース

くろがね線は、八幡・戸畑西地区を結ぶ約6kmの専用鉄道として建設されました。八幡側はルネッサンス風、戸畑側はローマの古い城壁をデザインしています。

26 西田岸壁～松ヶ島岸壁

経産省認定　一部非公開　Aコース

鉄鉱石や石炭など鉄造りに不可欠な原料を輸送し、造り出された大量の鉄製品を積み出す約2kmの岸壁で、明治39(1906)年～大正11(1922)年に建設されました。

27 河内貯水池

Cコース　経産省認定

製鐵所の拡張計画による工業用水確保のため大正8(1919)年から延べ90万人の労力と430万円（当時）の建設費を投入し、8年の歳月をかけて完成しました。

28 河内貯水池 堰堤

Cコース

北河内産の石材を多用した高さ44.1m、全長189m（道幅3.5m）の両面切り石張りコンクリート製で中央には半円柱の取水塔があり、ヨーロッパの古城の雰囲気が感じられます。継手面の凹凸部に漏水防止用の銅板がモルタルで埋め込まれており、現在でも漏水は見られず、当時の技術水準の高さがしのばれます。

29 北河内橋　30 中河内橋　31 猿渡橋

Cコース　経産省認定

河内貯水池には、河内5橋（北河内橋、中河内橋、南河内橋、猿渡橋、水無橋）と称される特徴的な構造や形をした橋が架かっています。※水無橋を除く4橋は、経済産業省認定の近代化産業遺産です。

32 南河内橋

Cコース　経産省認定　国文化財

河内5橋のひとつで、全長133mの鋼橋です。レンズ型に鋼材を組み合わせて各部材をピンで留める「レンティキュラー・トラス」と呼ばれる日本で唯一現存する形式です。「魚形橋」や「めがね橋」と呼ばれ親しまれています。平成18(2006)年12月19日、国重要文化財に指定されました。

33 妻恋の碑（白山神社内）

Cコース

製鐵所土木技師・沼田尚徳（ぬまた　ひさのり）が、河内貯水池の完成周際に病死した妻・泰子（やすこ）をしのんで建てた記念碑です。

34 石碑

Cコース

河内貯水池完成を記念し、着工時の製鐵所長官・白仁武（しらに　たけし）が詠んだ「乾坤日夜浮」などの石碑が建てられています。